

## 就労継続支援A型事業所におけるスコア表(全体)

事業所名	マルエイソーシャルサポート
住所	岐阜市北一色2丁目9番10号
電話番号	058-201-2225

事業所番号	2110103625
管理者名	森 光哉
対象年度	令和6年度

(I) 労働時間	
①1日の平均労働時間が7時間以上	
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満	
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満	○
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満	
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満	
⑧1日の平均労働時間が2時間未満	
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点	55

(IV) 支援力向上(※)	
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	
参加した職員が1人以上参加している	○
②研修、学会等又は学会誌等において発表	
1回以上の場合	
③視察・実習の実施又は受け入れ	
いずれか一方のみの取組を行っている	○
④販路拡大の商談会等への参加	
1回以上の場合	○
⑤職員の人事評価制度	
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○
⑥ピアサポーターの配置	
ピアサポーターを職員として配置している	
⑦第三者評価	
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等	
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものとの認証を受けている	
小計(注2)	4
(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点	点

(II) 生産活動	
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	○
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上	
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上	
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満	
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満	
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点	60

(V) 地域連携活動	
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○
1事例以上ある場合:10点	10

(III) 多様な働き方(※)	
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度	
就業規則等で定めている	○
②利用者を職員として登用する制度	
就業規則等で定めている	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	
就業規則等で定めている	
④フレックスタイム制に係る労働条件	
就業規則等で定めている	
⑤短時間勤務に係る労働条件	
就業規則等で定めている	
⑥時差出勤制度に係る労働条件	
就業規則等で定めている	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	
就業規則等で定めている	○
⑧傷病休暇等の取得に関する事項	
就業規則等で定めている	
小計(注1)	2
(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点	点

(VI) 経営改善計画	
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○
期限内に提出していない場合:-50点	0

(VII) 利用者の知識・能力向上	
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○
1事例以上ある場合:10点	10

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計
140 点 / 200点

## 就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績I～IV、VI）

(I) 労働時間					
前年度（令和5年度）					
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	8,484	雇用契約を締結していた延べ利用者数	1,725	利用者の1日の平均労働時間数	4.9
時間		人		時間	
(II) 生産活動					
会計期間（4月～3月）					
前々年度（令和3年度）	生産活動収入から経費を除いた額	6,841,502	円	利用者に支払った賃金総額	6,748,642
円			円		円
収支	92,860	円			
前々年度（令和4年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	7,823,832	円	利用者に支払った賃金総額	7,819,300	
円			円		円
収支	4,532	円			
前年度（令和5年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	8,186,872	円	利用者に支払った賃金総額	8,175,620	
円			円		円
収支	11,252	円			
(III) 多様な働き方					
前年度（年度）における取組（全休表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）					
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		②利用者を職員として登用する制度		③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	
◎免許・資格取得、検定の受検勧奨 に関する制度を定めている	<input type="checkbox"/>	◎利用者を職員として登用する制度を 定めている	<input checked="" type="checkbox"/>	在宅勤務に係る労働条件及び服務規律 に関する制度を定めている	<input type="checkbox"/>
④フレックスタイム制に係る労働条件		⑤短時間勤務に係る労働条件		⑥時差出勤制度に係る労働条件	
◎フレックスタイム制に係る労働条件を 定めている	<input type="checkbox"/>	◎短時間勤務に係る労働条件を 定めている	<input type="checkbox"/>	◎時差出勤制度に係る労働条件を 定めている	<input type="checkbox"/>
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度 を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>	◎傷病休暇等の取得に関する事項を 定めている	<input type="checkbox"/>		
(IV) 支援力向上					
前年度（年度）における取組（全休表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）					
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		②研修、学会等又は学会誌等において発表		③視察・実習の実施又は受け入れ	
◎研修計画を策定している	<input type="checkbox"/>	◎研修、学会等又は学会誌等において ！回以上発表している	<input type="checkbox"/>	◎先進的事業者の視察・実習の実施している もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	<input type="checkbox"/>
◎外部研修、もしくは内部研修を 1回以上実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>	※研修、学会等名		※先進的事業者名：社会福祉法人共生シンフォニー	
※研修名：支援力・経営力向上学習会		実施日：月 日		実施日/ 参加者数：9月 21日 2人	
研修講師：（特非）マライフ 小林季史氏		※学会誌等名		※他の事業所名	
実施日・受講者数：12月 13日 1人		掲載日：月 日		実施日/ 参加者数：月 日 人	
發表テーマ		発表テーマ			
④販路拡大の商談会等への参加		⑤職員の人事評価制度		⑥ピアソポーターの配置	
◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上 参加している。	<input checked="" type="checkbox"/>	◎職員の人事評価制度を整備している	<input checked="" type="checkbox"/>	◎ピアソポーターを配置している	<input type="checkbox"/>
※商談会等名：業務提携商談会		◎当該人事評価制度を周知している	<input type="checkbox"/>	◎当該ピアソポーターは「障害者ピアソート研修」 を受講している	<input type="checkbox"/>
主催者名：㈱鶴舞屋		人事評価制度の制定日：2年 6月 1日		※配置期間：月 日～月 日	
日時：4月 5日		人事評価制度の対象職員数：9名		就業時間：	
内容：㈱かね・ドリーム様に乾燥椎茸と鶴舞屋 様の鮎の加工食品をハイへ輸出する商談。		うち昇給・昇格を行った者：9名		職務内容：	
		当該人事評価制度の周知方法：面談			
⑦第三者評価		⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等			
◎前年度末日から過去3年内に 福祉サービス第三者評価を受けている	<input type="checkbox"/>	◎ISOが制定したマネジメント 規格等の認証等を受けている	<input type="checkbox"/>		
※評価を受けた日：月 日		※認証を受けた日：月 日			
第三者評価機関		規格等の内容			
(V) 経営改善計画					
◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、 経営改善計画書へ提出した。 <input checked="" type="checkbox"/>					
※受理日：2024年 4月 15日					

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

## 就労継続支援 A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	マルエイソーシャルサポート
住 所	岐阜県岐阜市北一色2-9-10
電話番号	058-201-2225

事業所番号	2110103625
管理者名	森 光巖
対象年度	令和5年度

### 地域連携活動の概要

#### <活動内容>

活動場所 岐阜市入舟町4-8-1 マルエイ共同ビル

実施日程 令和5年5月～毎週水曜日10:00～

実施した生産活動・施設外就労の概要

ビルの清掃作業・環境整備

#### <活動の様子>



【ビル清掃】

#### <目的>

##### 地域連携活動のねらい

ビル清掃や現場の環境管理を行う人材不足の依頼を受け、障害を持った方達ができる仕事を作り、自身のスキル向上や、一般企業の方達とのコミュニケーションを図る機会を提供し、就労の意識を高める。

##### 地域にとってのメリット

清掃業務と環境管理に関して、人材不足の解消及び専門業者に委託すれば屋内と屋外で二社への委託となりコスト削減に繋がる。

##### 対象者にとってのメリット

- 施設外作業に出て、新しい仕事を定期的に取組むことにより、能力の向上と一般の方達とのコミュニケーションを図る場を設けることでコミュニティの幅を拡大できる。

- 清掃作業を請け負う事で、清掃をするという習慣が生まれ、家庭での生活改善を促すことができ自立に繋がる。

#### <成果>

##### 実施した結果

##### 【ビルの清掃作業・環境整備】

利用者さん一人一人の課題やできる事できない事の認知ができた。

##### 得られた成果

清掃業務を行う事で自分の持ち場ができ役割や責任感を意識しながら取り組めるようになった。

##### 課題点

作業に真面目に取り組む姿勢が見受けられるようになってきたが、時間配分や作業終了時刻を認識しながら片付けや帰社する準備等ができるように声掛け等で意識してもらう必要性があると感じた。

### 連携先の企業等の意見または評価

#### 連携した結果に対する意見または評価

当ビルの共用スペースである廊下や階段は、タイルカーペットを採用しており、フローリング等の雑巾がけや埃の除去にはうきを使用することができず、シミや汚れを高圧洗浄機器で清掃していただいているので大変助かっています。

清掃業務を委託させていただいた当初は、水ぶきの拭いた後が残っていたりして、再度拭き直してもらうといった事もありましたが、そういう事も今はなく毎週きれいに清掃していただけて大変感謝しております。

#### 今後の連携強化に向けた課題

弊社で所有している他の施設（社員寮、事業所等）の清掃作業も今後、委託したいと考えているが、作業の時間帯や

どのあたりまでの範囲で請け負っていただけるか、また、禁忌行為等の遵守が可能であるかなど、貴社のご担当者様との打ち合わせを重ねていきたいと考えております。

連携先企業名	株式会社マルエイ 管理部	担当者名	渡邊 大地
--------	--------------	------	-------

## 労継続支援 A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告

事業所名	マルエイソーシャルサポート	事業所番号	2110103625
住 所	岐阜市北一色2-9-10	管理者名	森 光巖
電話番号	058-201-2225	対象年度	令和5年

利用者の知識・能力向上に係る実施概要	
<b>&lt;活動内容&gt;</b>	<b>&lt;活動の様子&gt;</b>
活動場所 マルエイソーシャルサポート 3階会議室	
実施日程 令和5年3月14日（木）	
実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要 ・共感力を養い協調性を高める。 ・自立と自律を学び生活能力の向上を目指す。	
利用者数 等 10名	
<b>&lt;目的&gt;</b>	<b>活動内容の追加コメント</b>
利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい 協調性と自立心を高め、作業効率と責任感を向上させ生産性を上げる	利用者さんに、簡易的な伝言ゲームを行い、同じお題でも描くものが異なるという事を体感してもらう事で、物事の捉え方や価値観の違いを認識してもらえた。このゲームを通して、現場での作業時に理解が得れないといった状況でも、価値観や捉え方の違いから生まれるすれ違いである事を少しでも理解してもらえたと感じています。相互のコミュニケーションをもっと行う事でそういったトラブルが減少したり、連携が強化されることで作業効率の向上に繋がると思うので、定期的にこのような活動を続けていきたいと感じています。
利用者にとってのメリット 一般就労に向けての作業能力向上とコミュニケーション能力が向上する。	
<b>&lt;成果&gt;</b> ・物事の捉え方の違いや考え方の違いが、人によって異なる事を体感し、伝え方や受け取る側の工夫によってトラブルの発生を防ぐ事に繋がる事を理解してもらえた。 ・利害関係のない関係性の中で人の為に動くというメリットが何か?という考え方がとても強い利用者さんに対して、どのように理解してもらうかが課題だと感じた。	

連携先の企業や事業所等の意見または評価	
利用者さんにとって、話して理解するという事より、体感することで納得できることがたくさんあったと思いますし、ゲーム感覚で参加する事で楽しく学べる良い機会になったと感じています。利用者さんの大半は、周囲との連携や周りを見て行動するといった事にあまり関心がなく生活してきた方が多く、そういうコミュニケーションの重要性を少しですが、感じてもらえた様でしたのでそういう点でも良かったと思っています。一方、連携や周りを見て行動するという事の重要性は理解しているが、自分ばかり行動して、損をしている。といった意見の利用者さんも存在しており、自分のメリットがないという意見がありました。このような意見に対して、相手がしっかりと理解できる回答ができるように考えることが事業所として今後の課題だと	
連携先企業（担当者）	岐阜障害者職業センター 茂木 修 様

利用者からの意見・評価	
・ゲームが面白かった。・もう少し、周りを見て行動できるようにしていきたいと思った。・考え方の違いや意識の違いがある事に気づいた。・理解できる点とそうでない所があった。周りの協力が必要だと感じる時がある。・コミュニケーションをとることが得意ではないが少しづつやっていきたいと思う。	